

会長挨拶

『電子社会基盤の方向性について』

タイムビジネス推進協議会会長
中央大学総合政策学部長
総合政策学部 教授

大橋 正和

～ 講師紹介～

大橋 正和 タイムビジネス推進協議会会長
中央大学総合政策学部長
総合政策研究科教授、工学博士
専門分野は、情報科学(電子社会システム)・環境流体力学
中央大学大学院理工学研究科博士後期課程修了
電子社会基盤研究会(総務省、経済産業省、
国土交通省)、iDCイニシアティブ等の会長も務めている

電子社会基盤の方向性について

タイムビジネス推進協議会

中央大学総合政策学部/総合政策研究科

大橋 正和

基盤としての新しい方向性

- ◆ 1. ドイツで学んだこと
 - 制度面での仕組みと技術の融合
- ◆ 2. 基盤技術として - XML Webサービス
 - Webサービスイニシアティブの立ち上げ
- ◆ 3. 安全・安心な電子社会の構築の考え方
 - Federal Identityの考え方
 - End to End Security の実現へ向けて

Webサービスとは何か？

- ◆ Webサービスは、広義のWebサービスと区別
 - XML Webサービス
- ◆ WebサービスとはSOAP/XML形式のメッセージ交換をベース
 - データ連携、アプリケーション連携、ネットワーク上の自律したアプリケーションを連携させる技術、または、そのアプリケーション全体
- ◆ 企業間・組織間のコラボレーションの実現するための標準技術
- ◆ 技術としての特色
 - 外部 DB・外部システムと自由に連携することが可能。官庁・企業にとっては業務の共同化、外部化が可能、レガシーシステムとの自由な連携可能
 - 組織としてコアコンピタンスに集中可能
 - 組織が持つ情報を Webサービスとして公開
 - ◆ ビジネスチャンス・アカウントビリティを向上(顧客ばかりでなくステークホルダーを対象)
 - エンドユーザには、各種手続きのワンストップサービスを提供

従来技術について

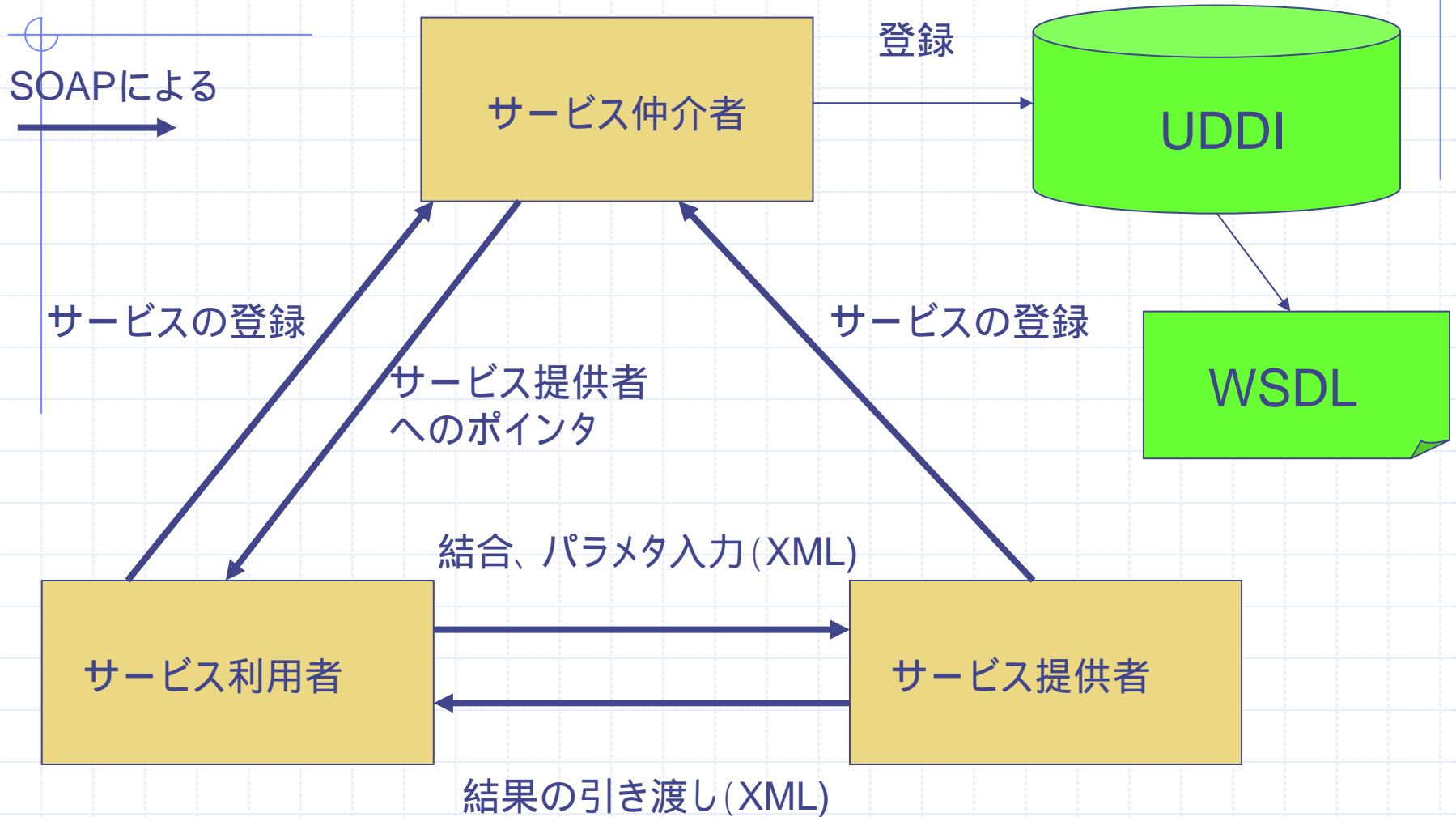
- ◆ 企業間システム連携
- ◆ EDI (Electronic Data Interchange : 電子データ交換)
- ◆ Web-EDI
企業内システム連携
- ◆ 分散オブジェクト (CORBA, DCOM)
- ◆ EAI (企業間システム連携 : Enterprise Application Integration)
必要とされる技術
- ◆ マーケットの変化に迅速に対応、ビジネスプロセスを再構築して自
ビジネスを強化するために社内外のシステムを柔軟に連携させる必要
- ◆ 従来の方法では管理・運用・プラットフォームを異にする、散在する
システムを連携させる - - - 困難
- ◆ インターネット上で利用可能にするのがWebサービス

Webサービスのメリット

◆ Webサービスのメリット

- ◆ 分散・協調ワークの実現
- ◆ 柔軟で迅速な企業・組織活動の展開
- ◆ コスト削減
- ◆ インターネットの高度利用・システム化
- ◆ コア・コンピタンスの強化
- ◆ ユビキタス社会への利用システムの提供による真の
ビキタス社会の実現
- ◆ 安心・安全な高度情報社会の実現

Webサービスのモデル



電子政府・電子自治体への応用

- ◆ 第1段階 SOAP / XMLによるデータ連携
 - カプセル化によるレガシーシステムの疎結合
 - 新規システムの共同利活用
- ◆ 第2段階 アプリケーション連携
 - SOAP/XMLをベースとする共同体内のアプリケーション連携
- ◆ 第3段階 アプリケーション・モジュールのネットワーク上での自動連携・実行
- ◆ 分散・協調ワークの実現

認証の考え方 (3A) Identityの共有

◆ Authentication (認証)

- ID、Passwordなど

◆ Attribute (属性)

- 所属・役職情報

◆ Authorization Decision (許可情報)

- アクセス、ファイルの操作 (閲覧、書き換え権限)

◆ Federated Identity

- サービス提供者間での認証情報のやりとりの手順の仕様化 (Liberty Alliance Project)

Federated Identity

◆ Circle of Trust

◆ SAML (Security Assertion Markup Language)

■ Liberty Identity Provider

- ◆ 個人の属性情報、認証情報等の管理情報

■ Liberty Service Provider

- ◆ 情報・サービスへのアクセス決定

◆ End to End Security の実現